

平成28年度 全国学力・学習状況調査について

義務教育課

I 本体調査の概要

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

小学校第6学年、中学校第3学年

3 調査実施日

平成28年4月19日(火)

4 調査内容

(1) 教科に関する調査(小学校…国語、算数 中学校…国語、数学)

- 主として「知識」に関する問題
- 主として「活用」に関する問題

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- 児童生徒に対する調査
 - ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
- 学校に対する調査
 - ・指導方法に関する取組や、人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

5 参加学校数等

- 参加学校数 計 439校
 - ・小学校285校、特別支援学校(小学部)2校
 - ・中学校148校、中等教育学校1校、特別支援学校(中学部)3校

- 参加児童生徒数 計 約24,000人
 - ・小学校 約12,000人
 - ・中学校 約12,000人

II 平成28年度全国学力・学習状況調査問題の概要について

1 教科に関する調査について

小学校国語

A 15問 (前年比+1) B 10問 (前年比+1)

A問題は、漢字の読み書きやローマ字での表記、毛筆において文字の大きさや配列の工夫を意識すること、登場人物についての描写をとらえること及びパンフレット作成に向けた情報収集の視点をとらえることなど、実生活に必要な言語事項の基礎的な知識・技能に関する問題が出題された。

B問題では、「早ね早起き朝ごはん」運動の報告文を書くに当たって、アンケート調査の結果を表す図や表を関係付けて、成果や課題、さらには解決方法を説明したり、メモを活用してインタビューをする際に相手の反応に即してインタビューの内容を考えたりするなど、実際の学習場面や生活場面での活用を想定した問題が出題された。

【特徴的な問題例】(国語B2ニ(1))

アンケート調査の結果を表すグラフや表をもとに、「早ね早起き」活動の課題について捉え、条件に沿って書く問題

2

【報告文の一部】

六年一組の高野さんの学級では、健康を生活のために「早ね早起き朝ごはん」運動に取り組んでいます。高野さんは、これまでの活動の結果を報告文にまとめ、学級のみんなに伝えることにしました。次は、高野さんが書いている「報告文の一部」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

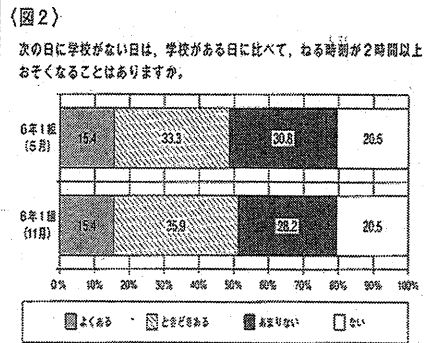
○「早ね早起き」活動のまとめ
1 成果
アンケート調査の結果、これら果を上げていることが分かります。(図1)のように、活動を始める人の割合が全国平均を上回り「次の日に学校がある日」に夜十時までは起きていた。それが半時時までにねる人の割合がその理由として、(表1)からみんを十分にとるために、夜十時までは寝ておきたいという保健室の先生のお話から、毎日を動かすように、体育がない日にクラスで外遊びを行う活動や、「健康せんげんカード」に早ね早起きできたかを記録する活動を行ったこともあげられます。

2 課題
成果があった一方、生活のリズムを保つという点で、今回の活動では改善できず、これから解決していきたい課題があることが分かりました。課題は(図2)から分かるように、

この課題を解決するために、テレビやゲームの時間、メールなどを減らす時間、そして「健康せんげんカード」の記録方法について考える必要があることが(表2)から分かります。

3 解決方法
そこで、わたしたちは多くの人を取り組める次のような解決方法を考えました。

・休みの日にも「健康せんげんカード」に記録をつけるよう
今後は、これらの解決方法に取り組んでいきたいと思っています。
○「朝ごはん」活動について
(報告文が続く)

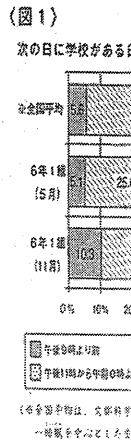


(表2) ねる時刻が2時間以上おそくなる理由は何ですか。(いくつ答えてもかまいません。)(6年1組 11月)

夜おそくまでテレビを観たり、ゲームをしたりしているから。	29人
夜おそくまで友達とメールなどをしてるから。	14人
休みの日は「健康せんげんカード」に記録しなくてもいいから。	10人
家族のみんなも寝ているから。	4人
その他	7人

(表1) 早ねをするようになった理由は何ですか。(いくつ答えてもかまいません。)(6年1組 11月)

保健室の先生のお話から、すいみんが校長に大事だと分かったから。	23人
毎日を動かしたら、早くおられるようになったから。	14人
「健康せんげんカード」に記録するから。	9人
早ねを毎日続けるようにしたら習慣になったから。	8人
早ねしたら授業に集中できるようになったから。	5人
その他	11人



二 高野さんは、「2 課題」と「3 解決方法」について書こうとしています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 高野さんは、「2 課題」について(図2)を用いて書こうとしています。

○(図2)の結果から考えて書くこと。
○書き出しの言葉に続けて、四十文字以上、六十文字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはふくまない。

【条件】

○(図2)の結果から考えて書くこと。
○書き出しの言葉に続けて、四十文字以上、六十文字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはふくまない。

【条件】

○(図2)の結果から考えて書くこと。
○書き出しの言葉に続けて、四十文字以上、六十文字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはふくまない。

【正答例】課題は(図2)から分かるように、次の日に学校がない日は、学校がある日に比べて、ねる時刻が2時間以上おそくなる人の割合が減っていません。(56字)

A問題では、すべての領域で基礎的な内容が出題された。数と計算の領域では除数が小数である場合の除法の意味や、除法に関して成り立つ性質についての問題が出題された。また、テープ図や数直線図を活用し、基準量、比較量、割合の関係を捉えるなどの問題が出題された。

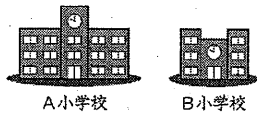
B問題では、体育の時間のハードル走での目標タイムの算出、学校行事で渡すメダルについて過不足を確かめるための式の意味の解釈、本の貸出冊数をまとめた表やグラフからの情報の読み取りなど、身近な生活場面での算数の活用を通して、算数を学ぶことの意義や有用性を実感できる問題が出題された。

【特徴的な問題例 算数B4(2)】

与えられた二つの表から適切に情報を読み取り、これらの表からは読み取ることができない事柄を選ぶ問題

4

A小学校とB小学校の図書委員会は、協力して読書活動をすすめています。



次の資料は、4月から7月までの4か月間の、各学校の本の貸出冊数の様子をまとめたものです。

4月から7月までの4か月間の 各学校の本の貸出冊数の様子

表1「各学校の月ごとの貸出冊数(冊)」

学校	月	4月	5月	6月	7月	合計
A小学校		986	2918	3414	2420	9738
B小学校		849	2523	2938	2095	8405

表2「A小学校の本の種類ごとの貸出冊数(冊)」

物語	科学	歴史	伝記	その他	合計
3800	1977	1496	989	1476	9738

A小学校の図書委員たちは、上の表1の の部分を見て、次のように話し合っています。



けんた

どちらの学校の子どものほうが本をよく借りているかな。



まこと

各学校の貸出冊数の合計で比べると、A小学校のほうが多いです。だから、A小学校だと思います。



あさ子

私は、どちらの学校の子どものほうが本をよく借りているかを、各学校の1人あたりの貸出冊数で比べたいです。1人あたりの貸出冊数を求めるためには、各学校の貸出冊数の合計のほかに、何を調べたらよいかな。

(2) A小学校の図書委員たちは、4月から7月までの4か月間の貸出冊数について、下の1から4までのように話しています。

下の1から4までの一部のことについて、表1、表2だけではわからないものを1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 どちらの学校も6月の貸出冊数がいちばん多いですね。校内読書週間の効果だと思います。秋にも校内読書週間をしましょう。
- 2 A小学校は「物語」の貸出冊数がいちばん多いですね。おもしろかった物語について、しょうかい文を書いてもらいましょう。
- 3 5月は「伝記」の貸出冊数が少ないですね。ポスターを作って呼びかけましょう。
- 4 A小学校の貸出冊数は、合計で9738冊ですね。次の4か月間は10000冊以上を目指しましょう。

[正答] 3

A問題は、文の読み取りや質問に対する答えの書き方、電話の仕方等、国語科の3領域1事項の全てからの基礎的・基本的な内容が出題された。パンフレットの見出しを指定された文字数と読み取った情報で書いたり、文のつながりを捉えて尾括型の文をまとめたりする条件付きの問題も出題された。

B問題は、ちらしや雑誌の記事等、日常生活に見られる情報を資料として、それらの要点や表現の工夫を適切に読み取る力をみる問題が出題された。3つの大問全てにおいて、自分の考えを条件に従い、根拠をもって具体的に記述する力を問う問題が出題された。

【特徴的な問題例 国語B 2 3】

雑誌の記事を読み、自分の疑問を根拠や内容を明確にして記述するとともに、疑問に応じた本の学校図書館での探し方を記述する問題

2

【雑誌の記事】

高橋さんは、次の「雑誌の記事」を読んで宇宙エレベーターに興味をもち、調べています。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

エレベーターで宇宙へ

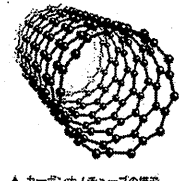
地上と宇宙を結んで、人や物の行き来を可能にする「宇宙エレベーター」。これまではSF小説やアニメに登場する、空想世界だけの技術と考えられていたが、今や実現可能な技術として期待されている。

ケーブルで地上と宇宙を結ぶ

赤道上の高層約3万6000kmの位置に宇宙ステーションを建設すると、地球の回転と同じ約24時間で一周するため、地上からは静止しているように見える。この宇宙ステーションから地上へ向けてカーボンナノチューブを素材とするケーブルを伸ばしていくと、ケーブルはへもケーブルを伸ばしてはバランスを保つ必要がある。

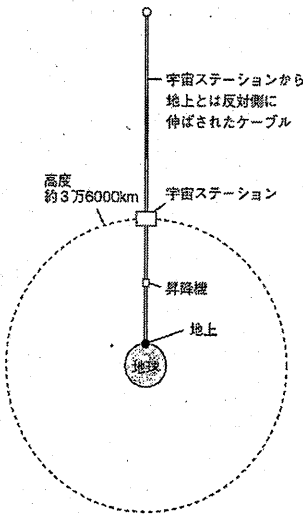
新たな物質の発見

性が高まった。現在は、鉄の100倍の強度にすることを目標として研究が進められている。



▲カーボンナノチューブの構造

宇宙エレベーターのイメージ



大量輸送もOK

これまでは、宇宙へ行くための方法として、スペースシャトルやソユーズなどの利用してきた。しかし、このケーブルには大量の物資を積み込むことができない。電力で動くエレベーターを使えば、大量の物資やたくさんに運ぶことが可能だ。

ロケットよりも安い費用

ロケットは、打ち上げに多くの費用がかかる。これに加え、

誰でも宇宙へ

現在、宇宙飛行士になるためには、健康面や科学的な知識、語学力などに関する様々な資格が求められている。しかし、宇宙エレベーターは安全性が確保されれば、地上のエレベーターと同じように乗ることができると考えられている。宇宙エレベーターを使えば、誰でも宇宙に行けるようになるかもしれない。

三 高橋さんは、宇宙エレベーターについて疑問に思ったことを、学校図書館で調べることになりました。あなたなら、自分が疑問に思ったことを、学校図書館でどのように調べますか。次のア、イについて、それぞれの指示にしたがって書きなさい。

ア 【雑誌の記事】を読んで、宇宙エレベーターについてあなたが疑問に思ったことを、「なぜ」「どのよう」に「」どのへん」という言葉のいずれかを使って、二十字以上、四十字以内で一つ書きなさい。

イ アについて学校図書館で調べる場合、必要な本をどのように探しますか。本の探し方を二つ書きなさい。

【正答例】

- ア 宇宙エレベーターは、なぜ長い期間にわたって繰り返し使うことが可能なのか。(36字)
- イ
 - ・図書の種類に従って、自然科学に関係する本が置いてある棚に行く。
 - ・図書検索用のコンピュータに「宇宙エレベーター」と入力して検索する。

A問題では、一元一次方程式の解の意味の理解が必要な問題など、すべての領域から、基礎的・基本的能力を問う問題が出題された。また、「図形」の領域では論証の必要性を問う問題、「資料の活用」の領域では、確率の考え方を問う問題などが出題された。

B問題では、数式を用いて「学級対抗ドッジボール大会」の計画を立てる問題や、電気自動車とガソリン車について使用年数と総費用との関係を関数として捉えて考える問題など、これまで同様、数学を使って日常生活の課題を解決する力を問う問題がみられた。

【特徴的な問題例 数学B 3(3)】

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題

3 航平さんの家では、自動車の購入を検討しています。購入を検討しているA車(電気自動車)とB車(ガソリン車)にかかる費用について、航平さんの家での自動車の使用状況を踏まえると、次のようになることがわかりました。

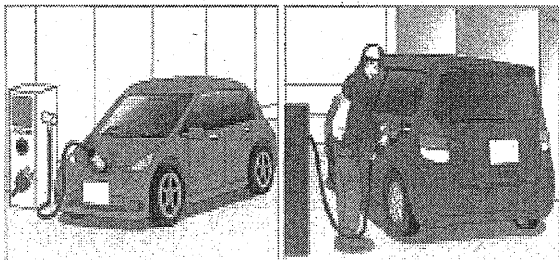
	A車(電気自動車)	B車(ガソリン車)
車両価格	280万円	180万円
1年間あたりの充電代・ガソリン代	4万円 (充電代)	16万円 (ガソリン代)

航平さんは、A車とB車について、それぞれの車の使用年数に応じた総費用を比べてみようと思いました。そこで、1年間あたりの充電代やガソリン代は常に一定であるとし、次の式で総費用を求めました。

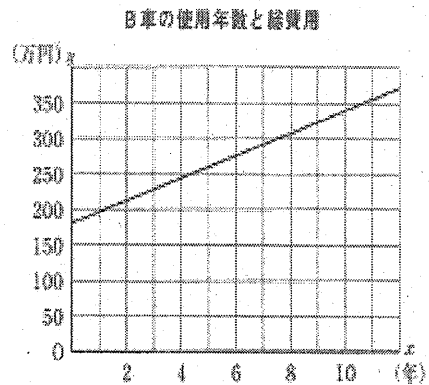
$$(\text{総費用}) = (\text{車両価格}) + \left(\frac{\text{1年間あたりの充電代・ガソリン代}}{\text{1年}} \right) \times (\text{使用年数})$$

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) A車を購入して10年間使用するときの総費用を求めなさい。



(2) B車を購入してx年間使用するときの総費用をy万円とします。このxとyの関係を、航平さんは次のような一次関数のグラフに表しました。



このグラフの傾きは、B車についての何を表していますか。下のアからエまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア 総費用
- イ 車両価格
- ウ 1年間あたりのガソリン代
- エ 使用年数

(3) A車とB車の総費用が等しくなるおよその使用年数を考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いてA車とB車の総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらかを選んで説明しなくてもかまいません。

- ア それぞれの車の使用年数と総費用の関数を表す式
- イ それぞれの車の使用年数と総費用の関数を表すグラフ

【正答例】〈アを選択した場合〉
A車とB車について、使用年数と総費用の関係から連立方程式をつくり、それを解いて使用年数の値を求める。

2 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査 小学校：85問（前年比-2）中学校：85問（前年比-2）

学校での学習活動や家庭学習への取組状況、先生の指導などに関する質問が追加され、ボランティア活動への参加などいくつかの質問が復活した。

○学校での学習活動や家庭学習への取組

- ・学級会などの話合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている。
- ・道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う。
- ・授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う。
- ・予習・復習やテスト勉強などの自学自習に、教科書を使いながら学習している。

○先生の指導

- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。

○ボランティア活動への参加（復活）

- ・地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。

学校に対する調査 小学校：116問（前年比+4）中学校：114問（前年比+4）

教科間の関連や指導事項の系統性を意識した指導計画の作成などカリキュラム・マネジメントに関する質問や、学習評価、小中連携の取組の具体、アクティブ・ラーニングやICT活用等に関する校内研修の実施に関する質問が追加された。

○カリキュラム・マネジメント

- ・指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している。

○学習評価

- ・国語や算数（数学）において、論述やレポートの作成、発表、グループでの話合い、作品の制作等の多様な活動に取り組ませることにより、ペーパーテストの結果に留まらない、多面的な評価を行った。

○小中連携

- ・近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った。

○校内研修

- ・児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っている。
- ・コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を学ぶ校内研修を行っている。

Ⅲ 経年変化分析調査の概要

1 調査の目的

国全体の学力の状況について、経年の変化を把握・分析し、今後の教育施策の検証・改善に役立てる。

2 調査対象

無作為に抽出された国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年
※全国で小学校400校程度、中学校500校程度を無作為に抽出

3 調査実施日

平成28年5月16日（月）～6月30日（木）
※期間中で調査対象校が実施可能な日

4 調査内容

教科に関する調査（国語、算数・数学）
・主として「知識」に関する問題と、主として「活用」に関する問題で構成

5 その他

○調査問題、抽出校数、抽出校名は非公表

